# 正しくお使いいただくために

本書では、831SHを本機と表記します。あらかじめご了承ください。
各機能の操作については、831SH使い方ガイドをご参照ください。

## ご使用時の注意事項

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | **本機に使用する電池パック・充電器（オプション品）・卓上ホルダー（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。**<br>● 指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。 |
| ⚠警告 | **本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。**<br>● 電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。 |
| | **充電器をコンセントに差し込むときは、卓上ホルダーの端子および充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。**<br>● 感電・ショート・火災などの原因となります。 |
| | **モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光しないでください。**<br>● 視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。 |

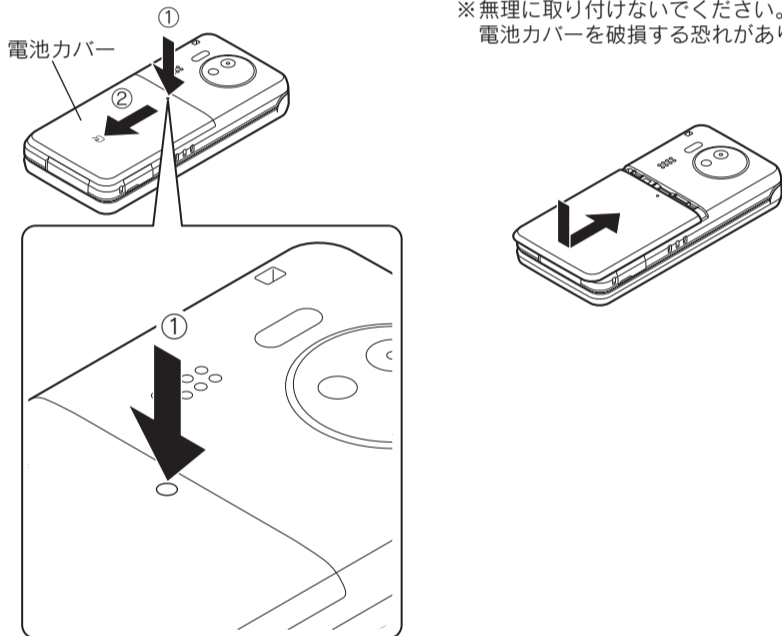
TCAUZA102AFZZ
09E 62.0 DS MK ③

- 本機は3G方式とGSM方式に対応しております。
- 約1ヶ月間、本機の電源をOffもしくは圏外にいた場合、ネットワーク自動調整の確認画面が表示されることがあります。ネットワーク自動調整を行わないと、本機のデジタルTVや本機で録画したTV番組の視聴、カメラ、メディアプレイヤー、S!アプリなどを利用することができません。
- 回線の解約後は、電話や通信機能だけでなく、デジタルTVや録画したデジタルTV番組の視聴、カメラ、メディアプレイヤー、S!アプリなどを利用することができません。



## 電池カバーの取り付け／取り外しについて

- 電池カバーを取り外すときは、①（電池カバーの○印）を押しながら②の方向にスライドさせてください。

- 電池カバーを取り付けるときは、電池カバーをキャビネットの両端に合わせて、矢印の方向にゆっくりとスライドさせてください。
  ※無理に取り付けないでください。本機や電池カバーを破損する恐れがあります。

## 電池残量表示について

- 本機は、以下の操作で電池残量表示を切り替えることができます。（ミニ電池表示）
  ● ➡「設定」➡ ● ➡本体設定画面で「ディスプレイ設定」➡ ● ➡「ミニ電池表示」➡ ● ➡表示形式選択➡ ●

**残量**
- 電池残量の目安を表示します。

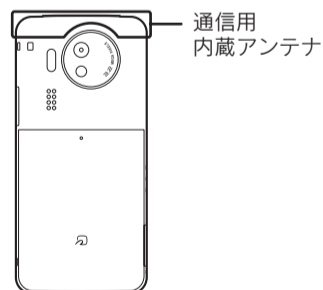
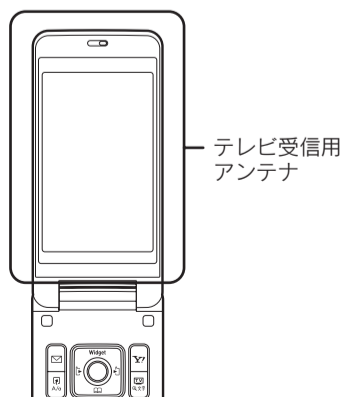
| FULL | LOW | % |
|---|---|---|
| 充電完了（スモールライト消灯） | 電池レベル1以下 | 電池残量の目安を表示 |

**残り時間**
- 現在の状態で使用し続けたとき、電池レベル1になるまでの目安の時間を表示します。

| LOW | 分 | --- 分 |
|---|---|---|
| 電池レベル1以下 | 残り時間の目安を表示 | 残り時間の測定中 |

- 画面消灯状態から起動したときなどは、現在の状況を反映するまでに時間がかかります。
- 充電中は、電池表示の背景がオレンジ色に変わり、残り時間は表示されなくなります。
- **「残量」、「残り時間」は目安であり、実使用を保証するものではありません。また、以下の状態になっても故障ではありません。**
  - 電池パック容量は、周囲温度の影響を受けます。また、充放電を繰り返すことによって、使用できる時間は短く、容量は少なくなっていきます。このため、残量と残り時間は、実際に使用できる時間との間に誤差を生じることがあります。
    特に低温下では表示されている残り時間まで、使用できない場合がありますのでご注意ください。
  - 電池パックの充電は、性能劣化を軽減するように制御されています。
    そのため、充電が完了しても残量は100%になりません。

## アンテナについて

- 本機には通信用のアンテナが内蔵されています。通信用内蔵アンテナ部分は、手で覆ったり、付近に金属を含むシールを貼ると感度に影響しますので、ご注意ください。

- 本機のテレビ受信用のアンテナは、ディスプレイ側に内蔵されています。テレビを視聴するときは、オープンポジションにして受信感度のよい方向に向けてください。

## ダブルナンバーについて（使い方ガイド P.6）

- ダブルナンバーとは、1台の携帯電話で、2つの回線（A回線／B回線：それぞれ別の電話番号とメールアドレス）を利用できるサービスです。
  ダブルナンバーの利用には、別途お申し込みが必要です。（有料）
  詳しくは、使い方ガイド P.6のバーコードを読み取って、サイトをご参照ください。
- ダブルナンバー利用時は、どちらか一方だけを利用する「Aモード」（A回線専用）／「Bモード」（B回線専用）と、2つの回線を同時に利用できる「デュアルモード」があります。
- AモードまたはBモード設定時は、利用しない回線での情報は表示されません。
  （電話帳やメールボックス、発着信履歴など）
- Bモードでは、機能の利用に制限があります。
  - インターネットは、B回線では利用できないため、操作中にA回線に切り替える必要があります。
  - S!ともだち状況／S!一斉トーク／着デコは、Bモードでは利用できません。
    （A回線に切り替えることもできません。）
- **ダブルナンバー利用時に初期化すると、モードにかかわらずすべての設定／データがリセットされますので、ご注意ください。**
- **ダブルナンバー利用時に、メールフォルダ、チャットフォルダを削除すると、設定されていないモードのメールも削除されますので、ご注意ください。**

## S!メールについて

- **本機は、300Kバイトを超える添付ファイル（最大1Mバイト）を送受信できます。（大容量ファイル添付機能）**
  **本機能をご利用の場合には通信料がかかります。**
  **※パケット通信を安心してご利用いただくために、パケット定額サービスをご用意しております。詳しくはソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）をご参照ください。**
  **※相手が対応していない場合は、メールが途中でカットされたり、ファイルが添付されない場合があります。300Kバイト以内で送信しなおしてください。**
- **受信したメールは、添付ファイルを含むメール全文が自動的に受信されます。特に海外では、パケット定額サービスの対象外となり、通信料が高額になる可能性がありますので、ご注意ください。（本文の一部を受信して、必要なメールだけ全文受信することもできます。）**

| 自動受信、添付ファイルに関する設定<br>共通操作：✉➡「メール／PCメール設定」➡●➡「S!メール設定」➡●➡下記の操作 | |
|---|---|
| 国内での利用時にS!メールを自動受信しない[手動受信(日本)] | 「メール受信設定(日本)」➡●➡「手動受信」➡●（※1） |
| 海外での利用時にS!メールを自動受信しない[手動受信(海外)] | 「メール受信設定(海外)」➡●➡「手動受信」➡●（※1） |
| メールサイズの上限を設定したい[メール作成サイズ] | 「メール作成サイズ」➡●<br>➡「300KB」／「1MB」／「300KB超添付時確認」➡●（※2） |
| 添付画像を拡大表示しない[画像表示設定] | 「画像表示設定」➡●➡「通常サイズ表示」➡●（※3） |
| 添付ファイルの自動表示／再生を設定したい[添付ファイル自動表示] | 「添付ファイル自動表示」➡●➡「画像」／「サウンド」<br>➡●➡「On」／「Off」➡●（※3） |
| 撮影／録音した添付ファイルを保存しない[添付ファイル送信時設定] | 「添付ファイル送信時設定」➡●➡「保存しないで送信」➡●（※3） |

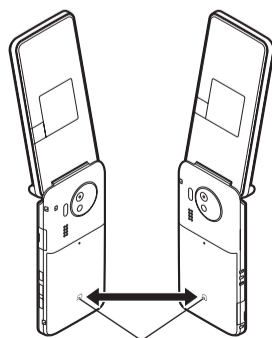
※1：「自動受信」のときは、添付ファイルを含む全文が自動的に受信されます。
　　通信料が高額になることがありますので、ご注意ください。
※2：「300KB超添付時確認」に設定しているときは、ファイル添付によってメールサイズが300Kバイトを超える場合に、メール作成サイズの確認画面が表示されます。
※3：PCメールにも設定内容が反映されます。

| 自動受信するS!メールの種類やアドレスを限定したい[指定自動受信]<br>共通操作：✉➡「メール／PCメール設定」➡●➡「S!メール設定」➡●➡「メール受信設定（日本）」／「メール受信設定（海外）」➡●➡「指定自動受信」➡✉➡下記の操作 | |
|---|---|
| 種類を選ぶ（複数選択可） | メール種類選択➡●（☐／☑）➡Y! |
| 個別アドレスを登録する | 「個別アドレス」➡✉➡番号選択➡●➡宛先選択／入力➡●➡Y! |
| 登録した個別アドレスを削除する | 「個別アドレス」➡✉➡番号選択➡✉➡「削除」➡●➡「はい」➡●➡Y! |
| 登録した個別アドレスを全件削除する | 「個別アドレス」➡✉➡✉➡「設定リセット」➡●➡「はい」➡●➡Y! |

## PCメールについて

- PCメールアカウントを設定すると、パソコン用のアドレスのメールを本機で送受信できます。
- 次のような場合には、パケット通信料が高額になることがありますのでご注意ください。
  - ・データ量の多いメールを送受信するとき
  - ・自動的にメールを受信するよう設定しているとき（「自動新着チェック」が「On」）
  - ・新着チェックの間隔が短く設定してあるとき
  （新着メールがなくてもパケット通信料が発生することがあります。）
- **海外では、パケット定額サービスの対象外となります。PCメール設定で、新着チェック設定の「海外使用時」を「有効」にしたり、頻繁に新着メールをチェックすると、サーバーに新着メールがない場合でもパケット通信料が発生することがありますので、ご注意ください。**

## ICデータ通信について

- ICデータ通信を利用すれば、ICデータ通信対応携帯電話との間で、データを無線でやりとりすることができます。
- ICデータ通信をご利用の際は、受信側、送信側の携帯電話の⌒マークを重ね合わせます。

⌒マークを
重ね合わせる

- オプション品のイヤホンマイクやUSBケーブル、ACアダプタを装着しているときは、ICデータ通信はご利用になれません。

## 電池パックの持ちと消耗軽減について

- 次のような操作や設定をされた場合は、電池パックの消耗が早いため、本機の利用可能時間が短くなります。
  なお、電池パックは消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

**操作（例）**
・ウィジェットの自動通信機能を多用しているとき
・本機のポジションを頻繁に変更(オープン／クローズ)したとき
・メール作成など連続したボタン操作を多くしたとき
・カメラ撮影を多くしたとき
・テレビの視聴や録画／再生をしたとき
・音楽を再生したり、ボイスレコーダーを録音／再生したとき
・スポットライトなどを多く使用したとき

**設定（例）**
・パネル点灯時間やバックライトの点灯時間を長く設定したとき
・バックライトや画面を明るくなるよう調整したとき
・サブディスプレイの点灯時間を長く設定したとき
・赤外線通信機能を「On」（有効）にしているとき

- 次の設定を変更すると、電池パックの消耗を軽減できます。
  ご使用にあわせた設定をおすすめします。

**〈照明や表示時間に関する設定〉**
・**バックライト**：点灯時間を短く、明るさを暗い設定にするほど軽減できます。
　●➡「設定」➡●➡本体設定画面で「ディスプレイ設定」➡●➡「バックライト」➡●➡「点灯時間／明るさ調整」➡●➡「時間設定／明るさ選択」➡●
・**パネル点灯時間**：点灯時間を短くするほど軽減できます。
　●➡「設定」➡●➡本体設定画面で「ディスプレイ設定」➡●➡「パネル点灯時間」➡●➡時間選択➡●

**〈サブディスプレイに関する設定〉**
・**サブディスプレイ**：点灯時間を短くするほど軽減できます。
　●➡「設定」➡●➡本体設定画面で「ディスプレイ設定」➡●➡「サブディスプレイ」➡●➡「点灯時間」➡●➡時間選択➡●

**〈キーに関する設定〉**
・**キーバックライト設定**：「Off」にすると、「On」に比べて軽減できます。
　●➡「設定」➡●➡本体設定画面で「キーバックライト設定」➡●➡「Off」➡●

**〈映像に関する設定〉**
・**明るさ設定**：画面を暗く設定するほど軽減できます。
　テレビ視聴中に✉➡「AV設定」➡●➡「明るさ設定」➡●➡明るさ選択➡●

## 本機でメモリカードデータを表示／再生できない場合

- パソコンで、データの保存場所を確認してください。
  下図のように、「PRIVATE」フォルダの中に「MYFOLDER」、「VODAFONE」の両方のフォルダが作成されている場合、本機では「VODAFONE」フォルダのデータを再生／表示できません。

| PRIVATE | |
|---|---|
| MYFOLDER | 再生／表示できる |
| VODAFONE | MYFOLDERが作成されている場合、再生／表示できない |

この場合は、次の作業を行い、データを「MYFOLDER」内の指定フォルダへ移行する必要があります。
1. 別紙「ユーティリティーソフトウェアについて」で案内しているURLにアクセスして、ユーティリティーソフトウェアをダウンロードする。
2. ユーティリティーソフトウェア内の「**メモリカード転送ソフト**」を使ってデータを移行する。（一部移行できないデータもあります。）

- SD™メモリカード／miniSD™メモリカードスロット搭載のシャープ携帯電話から本機に機種変更した場合も、「**メモリカード転送ソフト**」でデータを指定フォルダに移行する必要があります。

## その他機能について（使い方ガイド ☞P.22、P.52、P.55）

- 着デコは、着デコ対応のソフトバンク携帯電話同士で利用できます。
  着信側の設定によっては、着信時に着デコファイルが再生されないことがあります。
  利用方法について詳しくは、使い方ガイド☞P.52、P.55をご参照ください。
  ・お申し込みは不要です。
  ・着デコ対応のソフトバンク携帯電話で有効となります。
  ・着デコは、送信に成功したとき、発信者のみ課金されます。
  ・著作権で保護されているファイルは、利用できません。
- 本機を使用中に（辞書）を長押しすると、周りの人（正面以外）から画面表示を見えにくくすることができます。（ベールビュー）
  設定すると、画面の表示色が変わることがあります。
- さまざまなアプリケーション（ウィジェット）を待受画面に貼ることで、待受画面からすぐにほしい情報や機能を入手／起動できます。
  **※画面点灯時は、ウィジェットを操作していない場合でも自動で通信を行う場合があります。自動更新しないようにするには、以下の操作を行ってください。**
  ●➡「エンタテイメント」➡●➡「モバイルウィジェット」➡●➡「設定」➡●➡「自動更新設定」➡●➡「Off」➡●